

元気です

第 18 期 OBOG 加藤 愛奈

皆さま、ご無沙汰しております。第 18 期の加藤です。今回が初めての OB・OG エッセイ 寄稿 ですので (ごめんなさい)、まずは現在何をしているか、ご報告させていただきます。卒業後、広告代理店に入社してから戦略プランナーとして、教育や医療関係のクライアントを主に担当しています。教育と医療には以前から強い関心を抱いておりまして、担当できるように取り計らってくれた上司と営業さんには、感謝しかありません。なかには億劫な業務も (多々) ありますが、毎日とても幸せです。そして学生時代から変わらず、本当に人に恵まれています。会社同期は入社前から仲が良く、年 2 回は軽井沢に旅行するのが恒例になっています。上司や先輩は愉快的な人が多く、酔うとたくさん褒めてくれるので、頻繁に飲み連れて行ってもらっています。学生時代からの友人らとも頻繁に会っていて、結婚や転職といったライフイベントに挑む彼女らのエネルギーに、日々圧倒されています。



同期旅行にて (著者撮影)

◆先輩になってしまいました

自分ではまだあまり実感できていないのですが、そろそろ社会人 3 年目に差し掛かってしまいます。確かに、主担当の案件をいくつか持つようになり、1 人で判断を下すことが増え、「そろそろ OJT 担当だね」なんて周囲から言われるようになりました。3 年目になると、何が変わるのでしょうか、あるいは何を变えないといけないのでしょうか。個人的には、以下の 3 つを意識して生活しようという結論に至りました。他にも多々あると思いますので、先輩方は、是非ご教示ください。そして第 19 期以降の皆さんは、先輩にされて嬉しかったこと、そして嫌だったことを教えてください。よろしくお願いします。

①自分のやり方がそのまま誰かのやり方になる可能性を自覚する。②自分の意見が判断材料ではなく、正解として捉えられてしまう可能性を自覚する。③飲み会では、お金を置いてとっとと帰る。

小野ゼミの皆さまとのエピソードが少ないのが、今回の心残りです。集まる機会ございましたら、お誘いいただけると嬉しいです。もちろん私からもお声がけさせていただきます。また近いうちに、お会いできすように！